



夏に流行するこどもの感染症



「手足口病」「ヘルパンギーナ」 「咽頭結膜熱」に注意しましょう



…手足口病とは…

- 幼児を中心に夏に流行します。
- 手や足、口の中に水疱性の発疹が出ます。発疹は通常3～7日程で消失します。軽度の発熱(38℃以下)がみられることもあります。

…ヘルパンギーナとは…

- 幼児を中心に夏に流行します。
- 突然の発熱(38～40℃)で始まり、口の中やのどの奥に水疱性の発疹が出て、のどが痛みます。ほとんどの場合は、数日で回復します。

…咽頭結膜熱

(フール熱)とは…

- 幼児を中心に夏と冬(小規模)に流行します。
- 発熱で始まり、咽頭炎(のどの炎症)によるのどの痛みや結膜炎による眼の充血・眼の痛みなどが現れます。

…予防のためにできること…

咳やくしゃみ、会話等による“飛沫感染”と手指を介した“接触感染”に注意が必要です。

- 手洗いをしっかりと
 - ・ 手足口病は、症状がなくなってもしばらくは便の中にウイルスが排出されます。おむつ交換等の際には、使捨て手袋やマスクを着用し、しっかりと手を洗いましょう。
- タオル等の共用はやめましょう
- 咳エチケットが有効です
 - ・ 症状があるときはマスクを利用しましょう。
 - ・ 咳やくしゃみをするときは、ハンカチなどで口をおおいましょう。



…治療について…

- 特別な治療法はなく、症状を和らげる治療(対症療法)が行われます。
- 水分補給をこころがけましょう。
- 口やのどの痛みがある場合には、食事や水分が取りにくくなるため、脱水症状に注意しましょう。柔らかく刺激の少ないものを摂取しましょう。



山形県置賜保健所(保健企画課 感染症対策担当)

〒992-0012 米沢市金池7-1-50 ☎0238-22-3002

☆ 感染症に関する出前講座を行っています。お気軽にお問い合わせください。

